

「2017年3月期(第4回) 旅行市場動向調査」

一般社団法人 日本旅行業協会 (JATA) では、JATA会員各社および中連協会各社へ調査モニターへの登録を依頼し、登録のあった567社を対象として、四半期ごとに「旅行市場動向調査」を実施しております。今回、3月期の調査がまとまりましたのでお知らせします。

●海外旅行DIは、12月期(-32)より4ポイント上昇してマイナス28

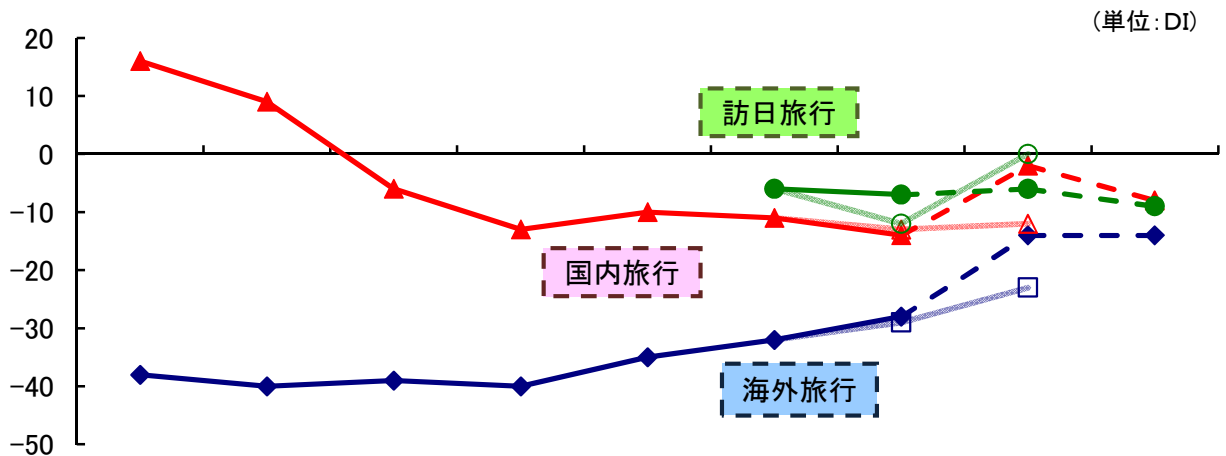
- 3ヶ月後は、14ポイント上昇しマイナス14へ。
- 6カ月後も14ポイント上昇しマイナス14へ。

●国内旅行DIは、12月期(-11)より3ポイント下降してマイナス14

- 3ヶ月後は、12ポイント上昇しマイナス2へ。
- 6カ月後は、6ポイント上昇し、マイナス8へ。

●訪日旅行DIは、12月期(-6)より1ポイント下降してマイナス7

- 3カ月後は、1ポイント上昇しマイナス6へ。
- 6カ月後は、2ポイント下落しマイナス9へ。



	1年半前 (7~9月)	1年 3カ月前 (10~12月)	1年前 (1~3月)	9カ月前 (4~6月)	6カ月前 (7~9月)	3カ月前 (10~12月)	現況 (1~3月)	3カ月後 (4~6月)	6カ月後 (7~9月)
海外旅行全般	-38	-40	-39	-40	-35	-32	-28 ※-29	-14 ※-23	-14
国内旅行全般	16	9	-6	-13	-10	-11	-14 ※-13	-2 ※-12	-8
訪日旅行全般	-	-	-	-	-	-6	-7 ※-12	-6 ※0	-9

※2016年12月期調査見通し数値

■旅行市場動向調査について

一般社団法人 日本旅行業協会（JATA）では、JATA会員および中連協会員各社へ調査モニターへの登録を依頼し、会員1,188社中、登録のあった567社を対象として、四半期ごとに「旅行市場動向調査」を実施し、その結果を発表しております。

「旅行市場動向調査」は、現況・先行き（3ヵ月後）についてのアンケートを実施し、旅行市場の動向を把握することを目的としております。

調査では各質問事項に対し「良い」「普通」「悪い」「取り扱っていない」で評価を求め、回答数から「取り扱っていない」（無回答を含む）の回答を除いたものを母数として各回答のシェアを算出し、「良い」を選んだ割合（%）から「悪い」を選んだ割合（%）を引いて、「D I」（=Diffusion Index ディフュージョン・インデックス）という景気動向指数に加工して発表しています。D I 値の範囲は、全て良い（100）から、全て悪い（-100）の間の評価となります。

◆調査概要

調査地域	： 全国
調査対象	： JATA会員各社、中連協会員各社の経営者など
調査方法	： インターネット調査
調査期間	： 2017年2月7日（火）～2月23日（木）
設定数	： 567社
回収数	： 282社
回収率	： 49.7%

◆業態別区分について

「旅行市場動向調査」では、各業況を業態別に分析しています。
各業態の定義と今回調査での回答件数は下記の表の通りとなっています。

業態名	定義	社数	比率
総合旅行会社	全国にネットワークを持ち、全分野に商品を持つ大規模な旅行会社	39	13.8%
海外旅行ホールセラー	海外旅行を専業とするホールセラー会社	17	6.0%
海外旅行系旅行会社	旅行業の取扱額が50億円以上で、うち海外旅行の取扱額が80%以上の旅行会社	13	4.6%
国内旅行ホールセラー	国内旅行を専業とするホールセラー会社	3	1.1%
リテラー1	上記以外で旅行業の取扱額が30億円以上の旅行会社	21	7.4%
リテラー2	上記以外で旅行業の取扱額が30億円未満の旅行会社	132	46.8%
インハウス	親会社の業務渡航などを中心に行っている旅行会社	34	12.1%
ネット系旅行会社	上記以外でインターネット販売が中心である会社	4	1.4%
訪日旅行系旅行会社	上記以外で訪日旅行販売が中心である会社	19	6.7%

*ホールセラー … パッケージツアーの企画・販売を専門に行う旅行会社

この資料についてのお問い合わせは、JATA広報室までお願いします。
なお、本データはJATAホームページ <http://www.jata-net.or.jp> でご覧になれます。
TEL : (03)3592-1244

■海外旅行全般の業況について

現況は12月期より4ポイント上昇し、マイナス28へ。
総合旅行会社は12月期より28ポイント上昇しマイナス14へ。

総合

12月期より4ポイント上昇し、見通しを1ポイント上回る-28へ。業態別では、総合旅行会社(-14) 28ポイント、海外旅行ホールセラー(-40) 1ポイント、リテラー1(-19) 4ポイント、インハウス(-17) 3ポイント上昇した。方面別では、ハワイ(+2) 3ポイント、アメリカ・カナダ(-28) 1ポイント、ヨーロッパ(-42) 24ポイント、ミクロネシア(-28) 3ポイント上昇した。

現況(1~3月)

アジアは12月期より下落も上位を維持。ヨーロッパが回復傾向。

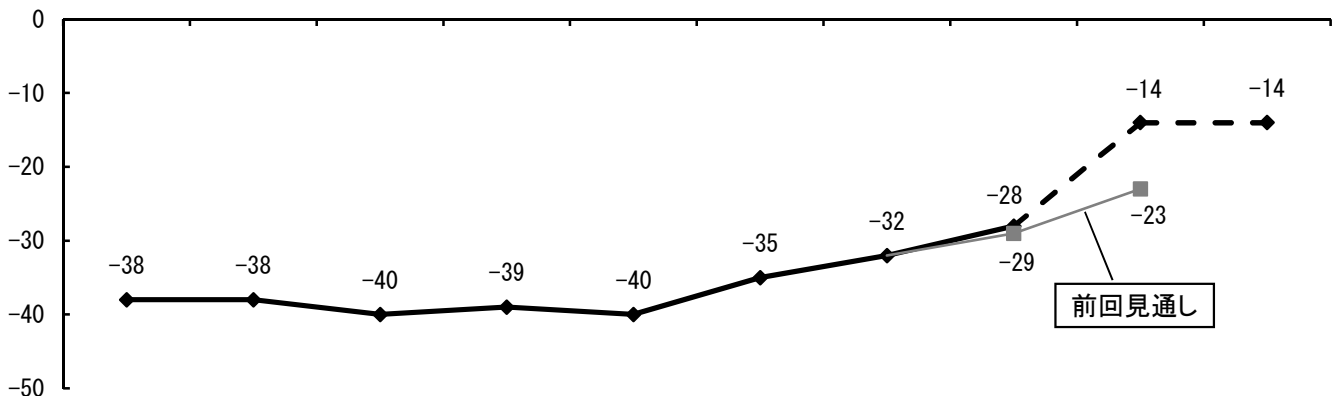
- ・ハワイおよび韓国方面については好調に推移している。低調であった欧州方面も徐々にではあるが回復傾向が見受けられる。(第1種/総合旅行会社)
- ・1月~3月の学生旅行は復活している感がある。(第1種/総合旅行会社)
- ・海外旅行全般は3カ月前(10~12月)より4ポイント上昇し、-28。

3カ月後、6カ月後の見通し

- ・4月以降のシニア層も復活している感があるが、円安・燃油復活により4月以降の旅費の値上がりは各方面に少し影響があると思われる(第1種/総合旅行会社)
- ・夫婦旅行・ハネムーンを中心にヨーロッパ方面が回復傾向にある。(第1種/リテラー1)
- ・3カ月後(4~6月)は14ポイント上昇し-14。6カ月後(7~9月)は14ポイント上昇し-14。

N:有効回答数
(N=238)

(単位:DI)



※2016年12月期調査見通し数値

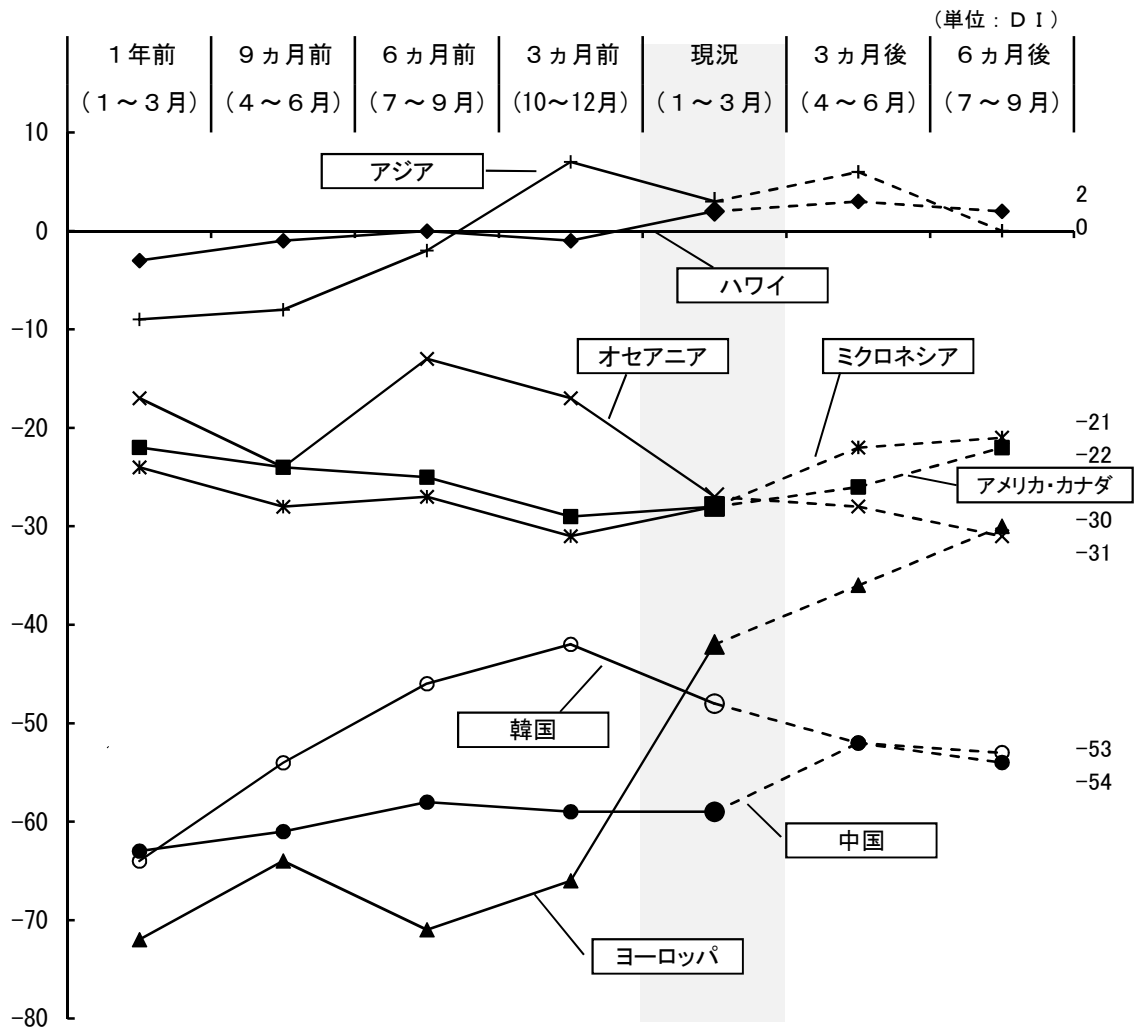
	1年半前 (7~9月)	1年3カ月前 (10~12月)	1年前 (1~3月)	9カ月前 (4~6月)	6カ月前 (7~9月)	3カ月前 (10~12月)	現況 (1~3月)	3カ月後 (4~6月)	6カ月後 (7~9月)
総合旅行会社	-49	-68	-71	-63	-49	-42	-14	8	18
海外旅行ホールセラー	-55	-61	-53	-48	-44	-41	-40	-6	6
海外旅行系旅行会社	-12	-6	-18	-6	-27	8	-16	8	-9
リテラー1	-45	-57	-39	-38	-40	-23	-19	19	-5
リテラー2	-39	-37	-36	-39	-33	-35	-37	-30	-25
インハウス	-26	-19	-22	-40	-25	-20	-17	-7	-14
ネット系旅行会社	-	-	-	-50	-33	-50	-50	-100	-67

◆海外旅行の需要動向（方面別）

現況は、アジアが下落も上位を維持。
ハワイは上昇しプラスへ。

- ・ 現況は3カ月前(10～12月)に比べ、アジアは4ポイント下落も最上位を維持。ハワイは3ポイント上昇し上位を維持。ヨーロッパは24ポイント上昇し回復傾向。オセアニアは10ポイント下落し、下降気味。アメリカ・カナダ、ミクロネシア、韓国、中国は横ばい。
- ・ 3カ月後(4～6月)は、アジアは3ポイント上昇し最上位を維持。ハワイは1ポイント増で上位を維持。ヨーロッパは6ポイント、中国は7ポイント上昇し回復傾向。

N:有効回答数
(N=238)



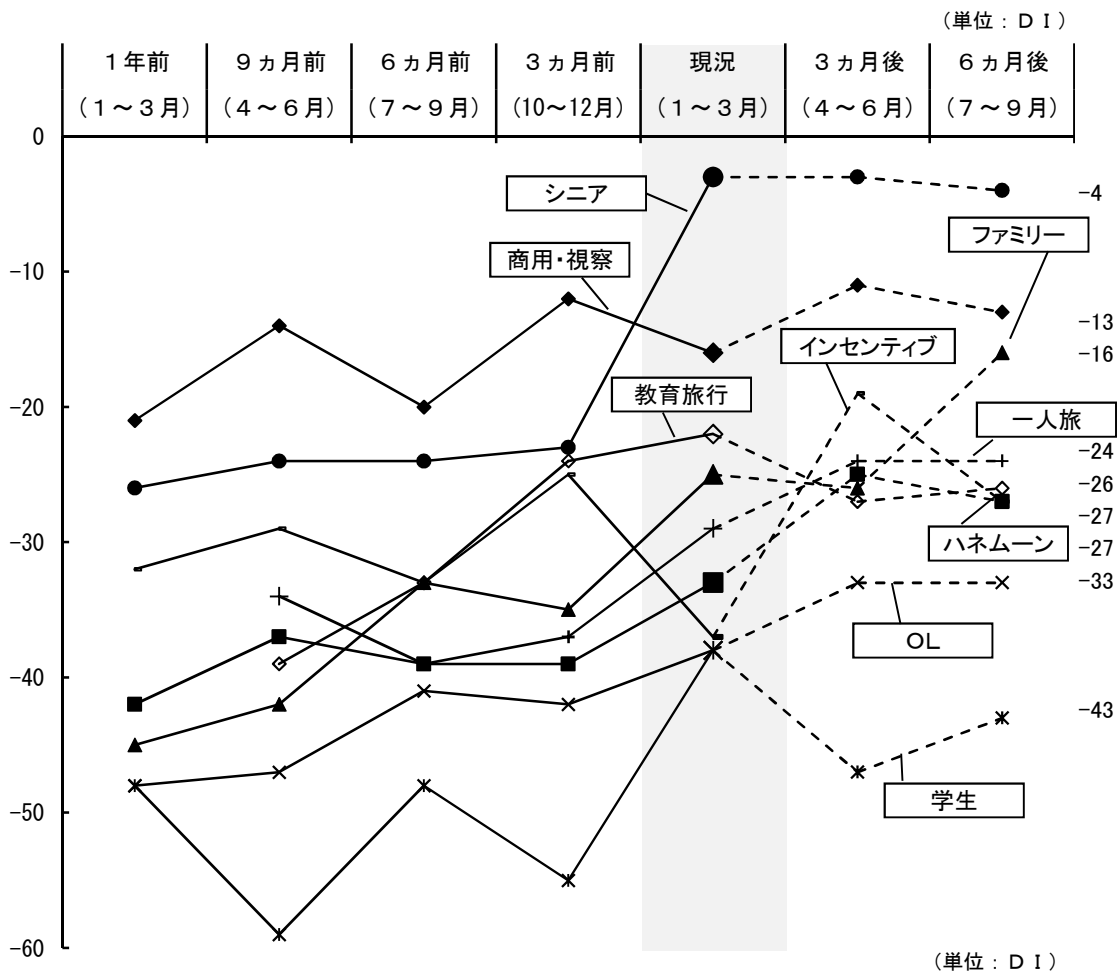
	1年前 (1～3月)	9カ月前 (4～6月)	6カ月前 (7～9月)	3カ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3カ月後 (4～6月)	6カ月後 (7～9月)
ハワイ	-3	-1	0	-1	2	3	2
アメリカ・カナダ	-22	-24	-25	-29	-28	-26	-22
ヨーロッパ	-72	-64	-71	-66	-42	-36	-30
オセアニア	-17	-24	-13	-17	-27	-28	-31
ミクロネシア	-24	-28	-27	-31	-28	-22	-21
アジア	-9	-8	-2	7	3	6	0
中国	-63	-61	-58	-59	-59	-52	-54
韓国	-64	-54	-46	-42	-48	-52	-53

◆海外旅行の需要動向（顧客層別）

現況は、シニア、一人旅、学生、ファミリーが大幅な上昇
インセンティブ、商用・視察は下降傾向

- ・ 現況は3カ月前(10~12月)に比べ、シニアは20ポイント上昇し最上位へ。ファミリーは10ポイント上昇、学生は17ポイント上昇、一人旅は8ポイント上昇し上位へ。OLは4ポイント上昇、教育旅行は2ポイント上昇もやや横ばい。
- ・ 3カ月後(4~6月)は、シニアは現状維持でも最上位。インセンティブは18ポイント上昇、商用・視察は5ポイント上昇で上位へ。ハネムーンは8ポイント、OLは5ポイント、一人旅は5ポイントで上昇。

N:有効回答数
(N=238)



	1年前 (1~3月)	9カ月前 (4~6月)	6カ月前 (7~9月)	3カ月前 (10~12月)	現況 (1~3月)	3カ月後 (4~6月)	6カ月後 (7~9月)
ハネムーン	-42	-37	-39	-39	-33	-25	-27
ファミリー	-45	-42	-33	-35	-25	-26	-16
OL	-48	-47	-41	-42	-38	-33	-33
学生 (教育旅行を除く)	-48	-59	-48	-55	-38	-47	-43
シニア (60歳以上)	-26	-24	-24	-23	-3	-3	-4
一人旅	-	-34	-39	-37	-29	-24	-24
インセンティブ(*)	-32	-29	-33	-25	-37	-19	-27
商用・視察	-21	-14	-20	-12	-16	-11	-13
教育旅行	-	-39	-33	-24	-22	-27	-26

*「インセンティブ」:企業・団体等が従業員への報奨として提供する旅行

■国内旅行全般の業況について

**現況は12月期より3ポイント下落し、見通しを1ポイント下回るマイナス14に。
3ヵ月後は大幅な上昇見通し(マイナス2)**

総 合

12月期より3ポイント下落し、見通しを1ポイント下回るマイナス14に。業態別では国内旅行ホールセラーが大きく43ポイント上昇。インハウスも12ポイント上昇し最上位へ。方面別では、京阪神が3ポイント下降するも最上位を維持。北海道は13ポイント下落、東北は15ポイント下落し、下降気味。

現況(1～3月)

京阪神は3ポイント下落も最上位を維持。九州は回復傾向。

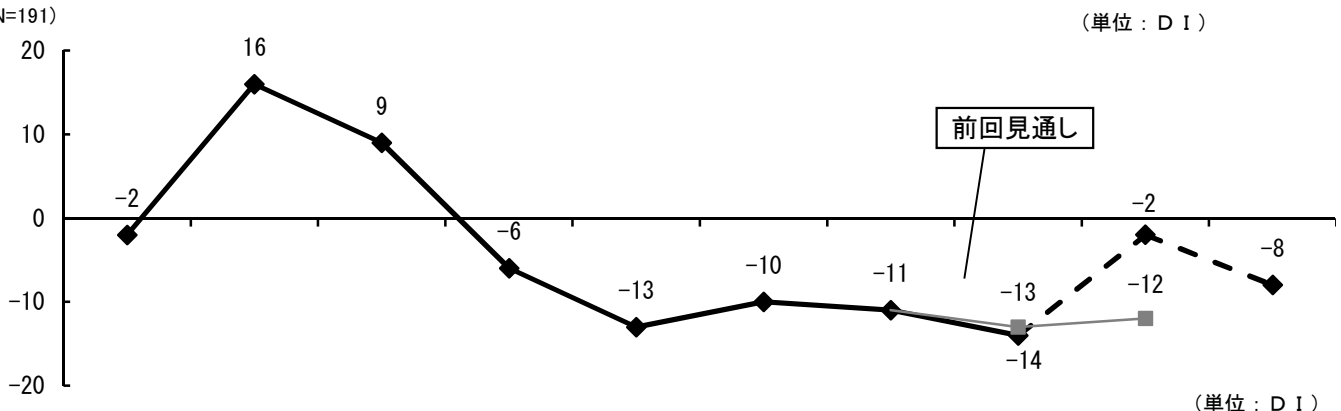
- ・5つ星の宿に人気がある。海外の低迷で購買力のあるシニアを中心に高級感のある国内旅行が人気の気配。(第1種/総合旅行会社)
- ・スキーを目的とした上信越は比較的好調。(第1種/インハウス)
- ・国内旅行全般は3ヵ月前(10～12月)より3ポイント下落し、-14。

3ヵ月後、6ヵ月後の見通し

全体的に上昇傾向。京阪神が4ポイント上昇しプラスへ

- ・4月に名古屋にはじめてのテーマパークが開園することにより旅行需要は増加すると予測。(第1種/総合旅行)
- ・九州ふっこう割販売期間は九州の販売が増え遠方の販売が落ち込んでいたが、ふっこう割が終了し、遠方への旅行が戻ってきている。(第1種/総合旅行会社)
- ・3ヵ月後(4～6月)は12ポイント上昇し-2。6ヵ月後(7～9月)は6ポイント上昇し-8。

N:有効回答数
(N=191)



2年前 (1～3月)	1年半前 (7～9月)	1年 3ヵ月前 (10～12月)	1年前 (1～3月)	9ヵ月前 (4～6月)	6ヵ月前 (7～9月)	3ヵ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3ヵ月後 (4～6月)	6ヵ月後 (7～9月)
-2	16	9	-6	-13	-10	-11	-14	-2	-8
							※-13	※-12	

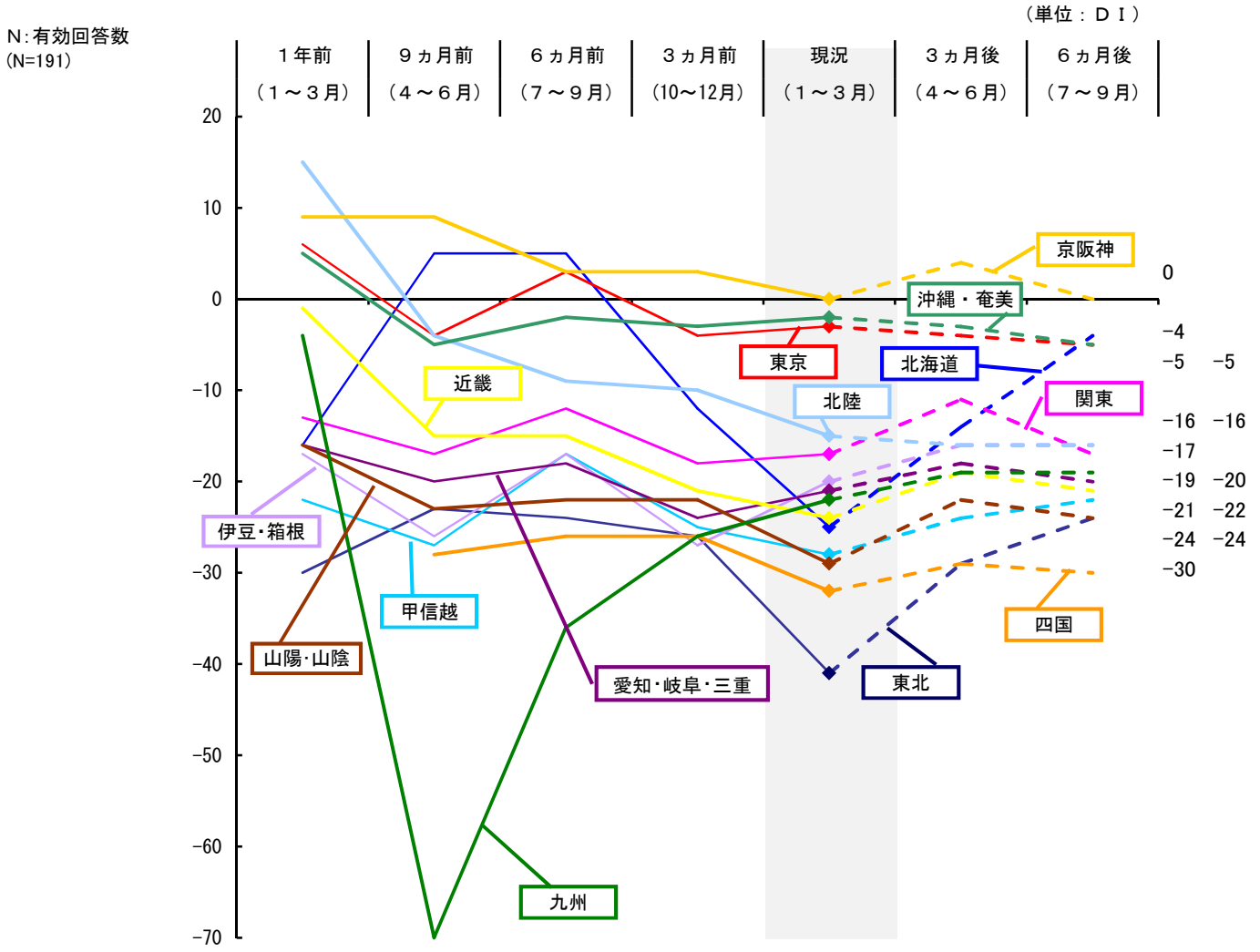
※2016年12月期調査見通し数値

	1年半前 (7～9月)	1年 3ヵ月前 (10～12月)	1年前 (1～3月)	9ヵ月前 (4～6月)	6ヵ月前 (7～9月)	3ヵ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3ヵ月後 (4～6月)	6ヵ月後 (7～9月)
総合旅行会社	32	11	4	-13	-13	-18	-19	13	11
国内旅行ホールセラー	-10	-20	-83	-20	-28	-43	0	33	50
リテラー1	41	25	0	-34	-21	-39	-19	-6	0
リテラー2	8	6	-7	-11	-9	-3	-16	-5	-13
インハウス	9	10	-2	-8	8	-5	7	-4	-7
ネット系旅行会社	-	-	-	-33	-44	-33	-67	-67	-67

◆国内旅行の需要動向（方面別）

**現況は、京阪神は3ポイント下落も最上位を維持。
九州は回復傾向。北海道、東北は大きく下落。**

- ・ 現況は3カ月前(10～12月)に比べ、京阪神は3ポイント下落も±0で最上位を維持。九州は4ポイント上昇し回復傾向。北海道・東北は大きく下落し下降傾向。他の地域はほぼ横ばい。
- ・ 3カ月後(4～6月)は、全体的に上昇傾向。京阪神が4ポイント上昇しプラスへ。九州は3ポイント上昇し回復傾向。北海道、東北とも上昇傾向。



(単位：D I)

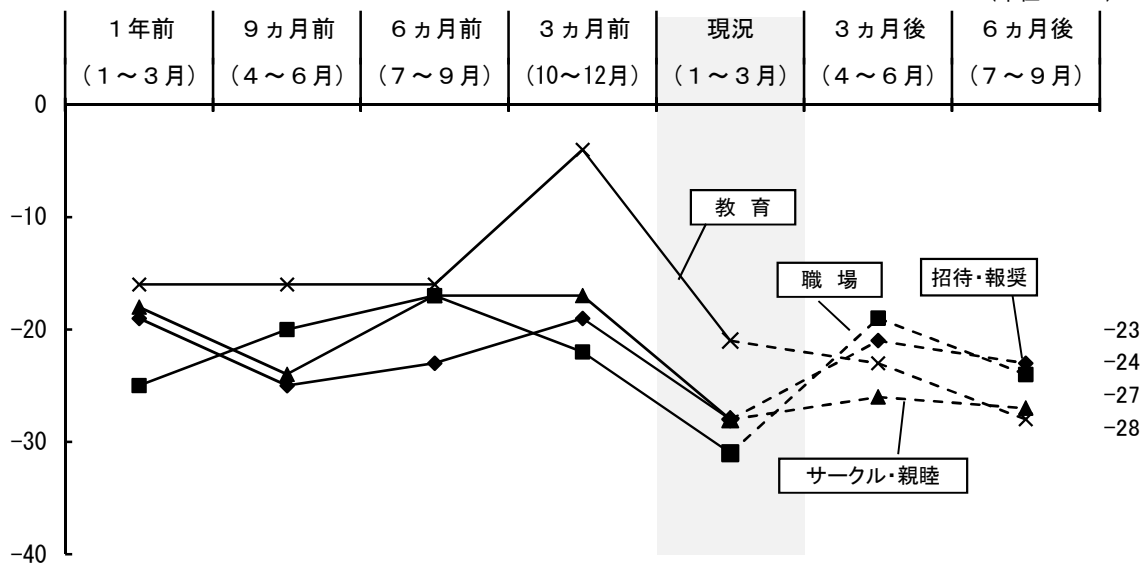
	1年前 (1～3月)	9カ月前 (4～6月)	6カ月前 (7～9月)	3カ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3カ月後 (4～6月)	6カ月後 (7～9月)
北海道	-16	5	5	-12	-25	-14	-4
東北	-30	-23	-24	-26	-41	-29	-24
東京(TDR・横浜を含む)	6	-4	3	-4	-3	-4	-5
関東	-13	-17	-12	-18	-17	-11	-17
甲信越	-22	-27	-17	-25	-28	-24	-22
伊豆・箱根(静岡を含む)	-17	-26	-17	-27	-20	-16	-16
愛知・岐阜・三重	-16	-20	-18	-24	-21	-18	-20
北陸	15	-4	-9	-10	-15	-16	-16
京阪神(京都・大阪・USJ)	9	9	3	3	0	4	0
近畿	-1	-15	-15	-21	-24	-19	-21
山陽・山陰	-16	-23	-22	-22	-29	-22	-24
四国	-	-28	-26	-26	-32	-29	-30
九州	-4	-70	-36	-26	-22	-19	-19
沖縄・奄美	5	-5	-2	-3	-2	-3	-5

◆国内旅行の需要動向（団体旅行）

- ・ 現況は3カ月前(10～12月)に比べ、全体的に下降傾向。教育は、17ポイントと大きく下落。
- ・ 3カ月後(4～6月)は、3月期より全体的にやや上昇。教育は、2ポイント下落と下降傾向。

N:有効回答数
(N=191)

(単位:DI)



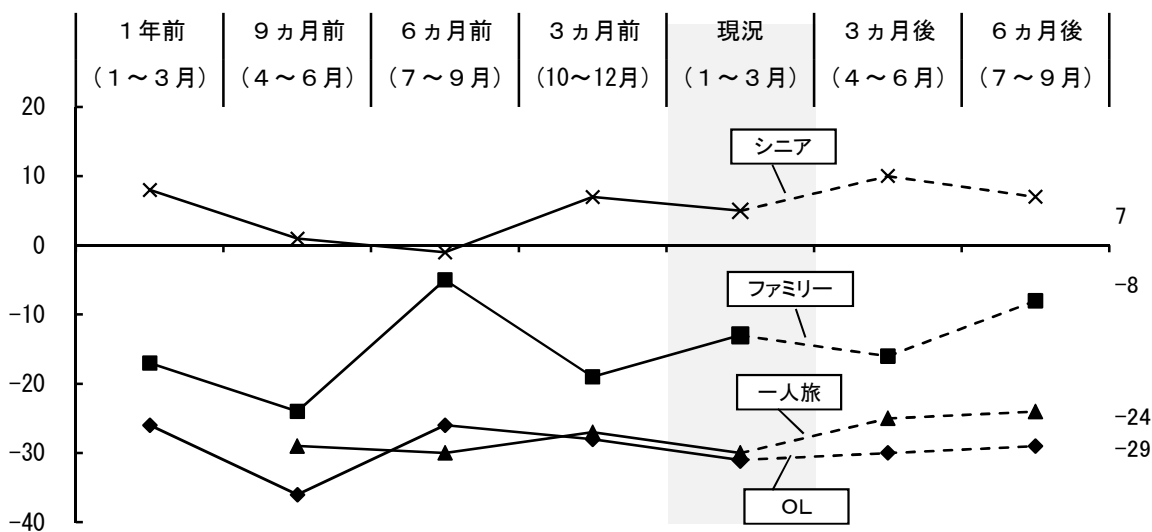
	1年前 (1～3月)	9カ月前 (4～6月)	6カ月前 (7～9月)	3カ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3カ月後 (4～6月)	6カ月後 (7～9月)
招待・報奨	-19	-25	-23	-19	-28	-21	-23
職場	-25	-20	-17	-22	-31	-19	-24
サークル・親睦	-18	-24	-17	-17	-28	-26	-27
教育	-16	-16	-16	-4	-21	-23	-28

◆国内旅行の需要動向（個人観光旅行）

- ・ 現況は3カ月前(10～12月)に比べ、シニアは2ポイント下落もプラス5とプラスを維持。ファミリーは6ポイント上昇。
- ・ 3カ月後(4～6月)は、シニアは5ポイント上昇しプラス10へ。一人旅は5ポイント上昇し上昇傾向。

N:有効回答数
(N=191)

(単位:DI)



	1年前 (1～3月)	9カ月前 (4～6月)	6カ月前 (7～9月)	3カ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3カ月後 (4～6月)	6カ月後 (7～9月)
OL	-26	-36	-26	-28	-31	-30	-29
ファミリー	-17	-24	-5	-19	-13	-16	-8
一人旅	-	-29	-30	-27	-30	-25	-24
シニア (60歳以上)	8	1	-1	7	5	10	7

■訪日旅行全般の業況について

現況は、1ポイント下落しマイナス7も見通しを5ポイント上回る。
総合旅行会社は9ポイント上昇。

総合

12月期より、1ポイント下落しマイナス7も見通しを5ポイント上回る。業態別では、総合旅行会社が9ポイント上昇しプラス16へ。
方面別では、北海道が5ポイント上昇し、プラス9で上位を維持。京阪神は1ポイント下落もプラス11で最上位。

現況(1～3月)

北海道、首都圏は上昇傾向。

- ・東京・京都・大阪の定番コースから地方都市へ立寄るコースが増えている。(第1種/総合旅行会社)
- ・北海道雪まつり期間中の訪日外国人旅行が大幅に伸びた。札幌中心だけでなく道東方面の冬まつりへも目が向き地方分散化ができた。(第1種/総合旅行会社)
- ・訪日旅行全般は3ヵ月前(10～12月)より1ポイント下落し、-7。

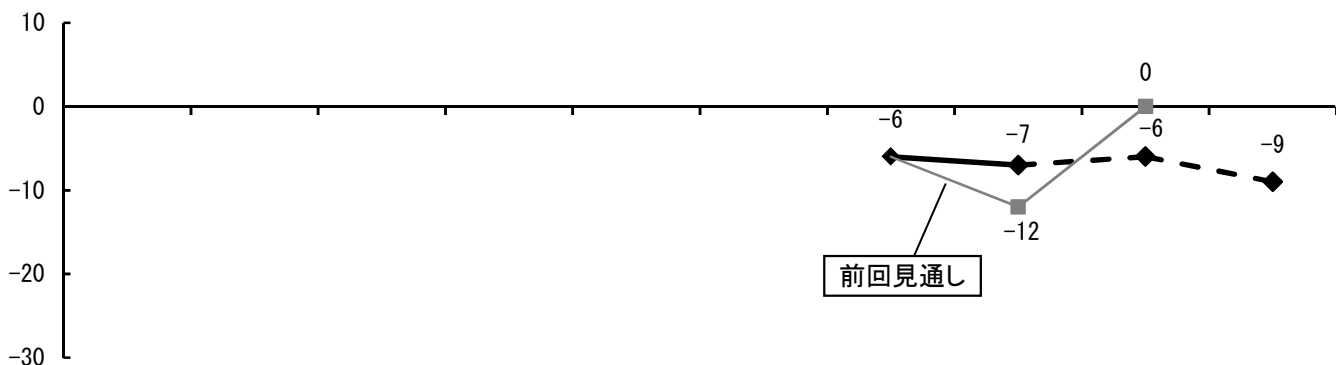
3ヵ月後、6ヵ月後の見通し

首都圏、大阪・京都は上昇。

- ・イースター休暇が今年4月中旬のため昨年よりも4月の欧米が伸びる見込みクルーズでの訪日がさらに増加傾向になる見込み(第1種/総合旅行会社)
- ・桜シーズンの問合せが非常に多く、宿泊確保、宿泊金額のアップなどで対応に苦慮。(第1種/リテラー1)
- ・3ヵ月後(4～6月)は1ポイント上昇し-6。6ヵ月後(7～9月)は2ポイント下落し-9。

(単位：D I)

N:有効回答数
(N=107)



(単位：D I)

2年前 (1～3月)	1年半前 (7～9月)	1年 3ヵ月前 (10～12月)	1年前 (1～3月)	9ヵ月前 (4～6月)	6ヵ月前 (7～9月)	3ヵ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3ヵ月後 (4～6月)	6ヵ月後 (7～9月)
-	-	-	-	-	-	-6	-7	-6	-9
							※-12	※0	

※2016年12月期調査見通し数値

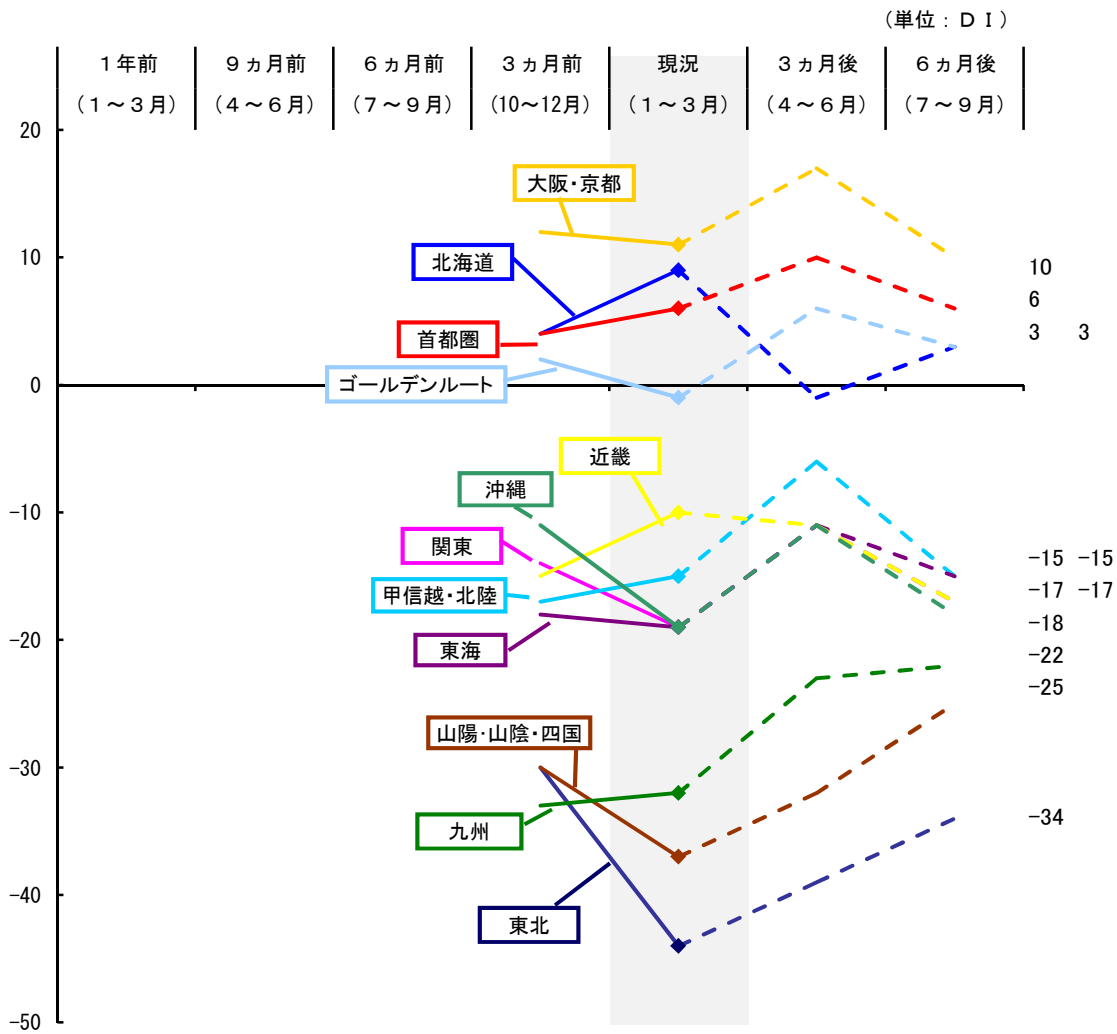
	1年半前 (7～9月)	1年 3ヵ月前 (10～12月)	1年前 (1～3月)	9ヵ月前 (4～6月)	6ヵ月前 (7～9月)	3ヵ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3ヵ月後 (4～6月)	6ヵ月後 (7～9月)
総合旅行会社	-	-	-	-	-	7	16	8	4
リテラー1	-	-	-	-	-	-18	-12	-12	-12
リテラー2	-	-	-	-	-	-10	-21	-26	-22
インハウス	-	-	-	-	-	0	-25	-19	-25
ネット系旅行会社	-	-	-	-	-	25	100	100	100
訪日旅行系旅行会社	-	-	-	-	-	-13	-10	5	-6

◆訪日旅行の需要動向（方面別）

現況は、北海道は5ポイント上昇しプラス9へ。首都圏は2ポイント上昇しプラス6へ。
3ヵ月後は、首都圏は4ポイント上昇しプラス10へ。大阪・京都は6ポイント上昇し17ポイントへ。

- ・ 現況は3ヵ月前(10～12月)に比べ、北海道は5ポイント上昇しプラス9へ。首都圏は2ポイント上昇しプラス6へ。東北は14ポイント下落しマイナス44へ。ゴールデンルートは3ポイント下落しマイナス1へ。
- ・ 3ヵ月後(4～6月)は、首都圏は4ポイント上昇しプラス10へ。大阪・京都は6ポイント上昇し17ポイントへ。ゴールデンルートは7ポイント上昇しプラス6へ。九州は9ポイント上昇しマイナス29と上昇傾向。

N:有効回答数
(N=107)



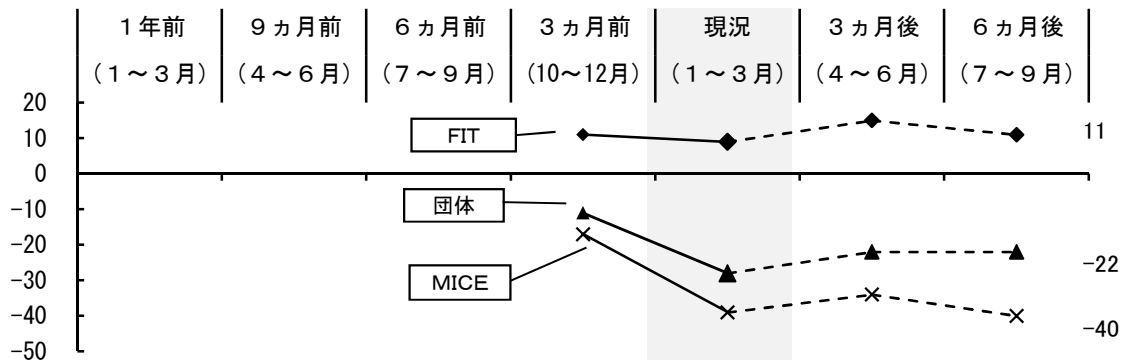
	1年前 (1～3月)	9ヵ月前 (4～6月)	6ヵ月前 (7～9月)	3ヵ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3ヵ月後 (4～6月)	6ヵ月後 (7～9月)
北海道	-	-	-	4	9	-1	3
東北	-	-	-	-30	-44	-39	-34
関東	-	-	-	-14	-19	-11	-17
ゴールデンルート(関東⇄関西)	-	-	-	2	-1	6	3
首都圏(TDR含む)	-	-	-	4	6	10	6
甲信越・北陸	-	-	-	-17	-15	-6	-15
東海	-	-	-	-18	-19	-11	-15
大阪・京都(USJ含む)	-	-	-	12	11	17	10
近畿	-	-	-	-15	-10	-11	-17
山陽・山陰・四国	-	-	-	-30	-37	-32	-25
九州	-	-	-	-33	-32	-23	-22
沖縄	-	-	-	-11	-19	-11	-18

◆訪日旅行の需要動向（顧客種別）

- ・ 現況は3カ月前(10～12月)に比べ、全体的に下降傾向。FITは2ポイント下落しプラス9へ。団体は17ポイント下落しマイナス28へ。MICEは22ポイント下落しマイナス39ポイント
- ・ 3カ月後(4～6月)は、全体的に上昇傾向。FITは6ポイント上昇しプラス15へ。団体は6ポイント上昇しマイナス22へ。MICEは5ポイント上昇しマイナス34へ。

N: 有効回答数
(N=107)

(単位: D I)



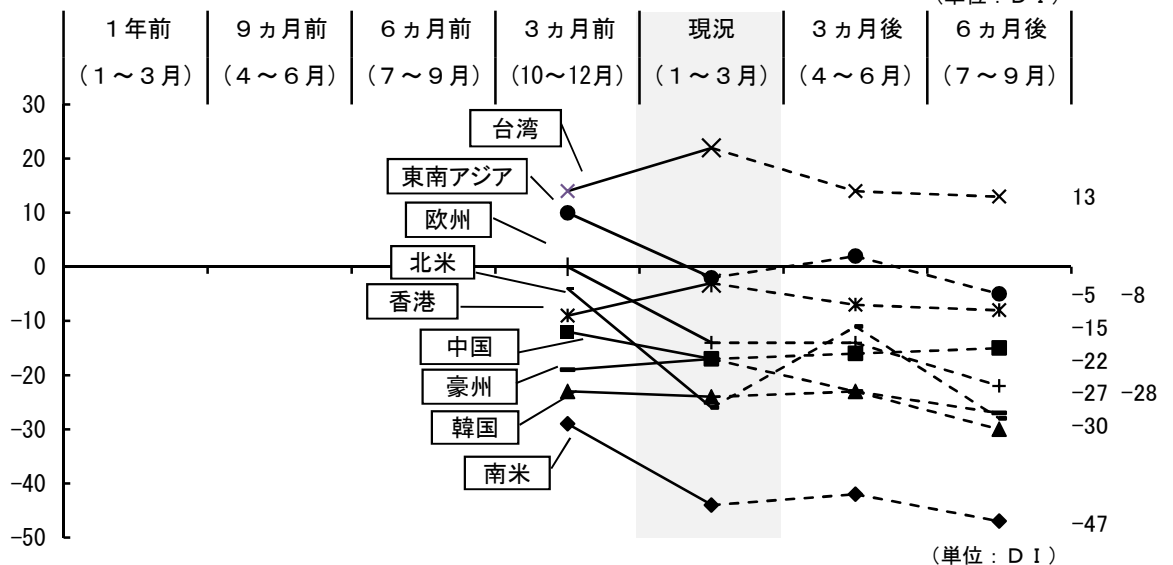
	1年前 (1～3月)	9カ月前 (4～6月)	6カ月前 (7～9月)	3カ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3カ月後 (4～6月)	6カ月後 (7～9月)
FIT	-	-	-	11	9	15	11
団体	-	-	-	-11	-28	-22	-22
MICE	-	-	-	-17	-39	-34	-40

◆訪日旅行の需要動向（出身国別）

- ・ 現況は3カ月前(10～12月)に比べ、台湾は8ポイント上昇しプラス22で最上位を維持。東南アジアは12ポイント下落しマイナス2とマイナスに。
- ・ 3カ月後(4～6月)は、台湾は6ポイント下落もプラス14で最上位を維持。東南アジアは4ポイント上昇しプラス2でプラスに。中国は1ポイント下落しマイナス16で横ばい。

N: 有効回答数
(N=107)

(単位: D I)



	1年前 (1～3月)	9カ月前 (4～6月)	6カ月前 (7～9月)	3カ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3カ月後 (4～6月)	6カ月後 (7～9月)
中国	-	-	-	-12	-17	-16	-15
韓国	-	-	-	-23	-24	-23	-30
台湾	-	-	-	14	22	14	13
香港	-	-	-	-9	-3	-7	-8
東南アジア	-	-	-	10	-2	2	-5
欧州	-	-	-	0	-14	-14	-22
北米	-	-	-	-4	-26	-11	-28
南米	-	-	-	-29	-44	-42	-47
豪州	-	-	-	-19	-17	-23	-27